

平成30年5月9日

報道機関各位

平成30年度 環境・地質研究本部 調査研究成果発表会のご案内

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部（環境科学研究センター、地質研究所）は、最近取り組んだ調査研究の内容や成果について、道民の皆様幅広くお知らせするため、次のとおり成果発表会を開催いたします。

成果発表会には、どなたでも参加できます（参加無料）。

プログラムの詳細につきましては、別添プログラムまたは、環境科学研究センター及び地質研究所のホームページをご覧ください。

◎環境科学研究センター（5月17日）

漁村地域における再生可能エネルギーの利活用、日本でも有数の透明度を誇る摩周湖における水質監視と透明度研究、北海道の湿原に関する研究、近年人間との軋轢が社会問題化しているヒグマ対策、捕獲ストレスに着目したエゾシカの肉質評価などの研究成果とその活用策をわかりやすくご紹介します。

◎地質研究所（5月18日）

日本海沿岸の津波浸水図、日本海沿岸漁業に貢献する環境データベース、地下水資源の管理や地熱・温泉資源開発の可能性に関する研究などの成果とその活用策をわかりやすくご紹介します。

◎日時

- ・平成30年5月17日（木）11:30～17:30（環境科学研究センター）
- ・平成30年5月18日（金）11:30～17:20（地質研究所）

◎場所

北海道立道民活動センター（かでの2・7）4F 大会議室
（住所：札幌市北区北2条西7丁目）

◎報道（取材）にあたってのお願い

- ・取材をされる場合、受付にてその旨お申し出ください。
- ・発表者への個別取材を希望される場合は、時間調整等をさせていただきます。

◎プログラム掲載HP

<http://www.hro.or.jp/list/environmental/research/ies/information/lecture.html>
（環境科学研究センター）

<https://www.hro.or.jp/list/environmental/research/gsh/information/topics/topics20180518.html>
（地質研究所）

お問合せ

道総研（地方独立行政法人 北海道立総合研究機構）
環境・地質研究本部 企画調整部企画課

電話 011-747-3525 ※平日8:45～17:30（土・日はお休みです。）

※プログラムの申込期限は5月11日（金）としていますが、それ以降でも受付いたします。



平成 30 年度

環境・地質研究本部

調査研究成果発表会

日程 平成 30 年 5 月 17 日(木)・18 日(金)

会場 北海道立道民活動センター(かでの2・7)4F 大会議室
札幌市中央区北 2 条西 7 丁目

環境科学研究センター

5月17日(木)11:30 ~ 17:30

11:30 ~ 13:10 受付・ポスター展示
13:10 ~ 13:20 開会挨拶
13:20 ~ 14:40 口頭発表(環境保全部)
14:40 ~ 15:40 ポスター発表・休憩
15:40 ~ 17:20 口頭発表(自然環境部)
17:20 ~ 17:30 閉会挨拶

地質研究所

5月18日(金)11:30 ~ 17:20

11:30 ~ 13:10 受付・ポスター展示
13:10 ~ 13:20 開会挨拶
13:20 ~ 15:10 口頭発表(特集:津波)
15:10 ~ 16:10 ポスター発表・休憩
16:10 ~ 17:10 口頭発表
17:10 ~ 17:20 閉会挨拶

参加申込方法

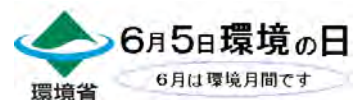
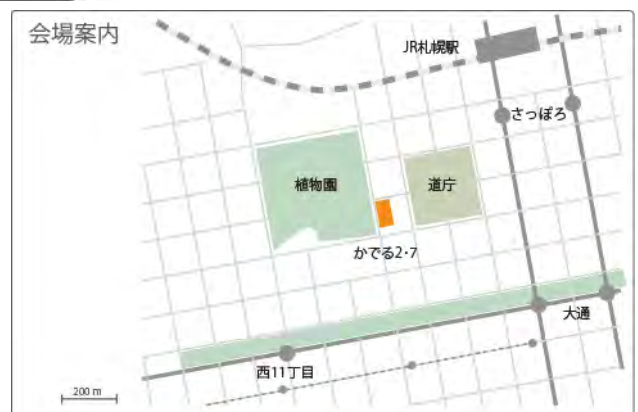
参加無料

参加日(5/17・5/18)・所属・職・氏名・住所・電話番号を明記の上、5/11(金)までにメール・FAX・郵送のいずれかでお申し込みください。

申込先・お問い合わせ

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
環境・地質研究本部 企画調整部 企画課

〒060-0819 札幌市北区北19条西12丁目
TEL: 011-747-3532 FAX: 011-747-3254
E-mail: eg-moushikomi@ml.hro.or.jp



- 11:30 ~ 13:10 ● 受付・ポスター展示
- 13:10 ~ 13:20 ● 開会挨拶
- 13:20 ~ 14:40 ● 口頭発表(環境保全部)
- 排ガス中水銀測定法の検討と技術の普及
……………大塚 英幸
 - 漁村地域における再生可能エネルギーの利活用について
……………丹羽 忍
 - 摩周湖における水質監視と透明度研究-GEMS/Waterベースラインモニタリング-
……………五十嵐 聖貴
 - 農薬の環境濃度予測モデルの検討-道内河川への適用性-
……………田原 るり子
- 14:40 ~ 15:40 ● ポスター発表・休憩
- 15:40 ~ 17:20 ● 口頭発表(自然環境部)
- 主要4湿原における植生変化-湿原定期モニタリング-
……………島村 崇志
 - 湿原の生物多様性評価に向けたデータベース作成と評価-湿原広域モニタリング-
……………小野 理
 - ヒグマとのあつれきは減っているか?-北海道におけるヒグマ問題個体数の動向把握-
……………近藤 麻実
 - 牧草地被害軽減とエゾシカ資源利用の両立に向けた防除と捕獲の適正配置
……………上野 真由美
 - 捕獲ストレスに着目したエゾシカの肉質評価
……………亀井 利活
- 17:20 ~ 17:30 ● 閉会挨拶

ポスター発表プログラム

- 摩周湖の霧と木の気になる関係
……………山口 高志
- ホタテのウロを使って魚の餌づくり
……………山口 勝透
- 地理情報システム(GIS)を活用した一般廃棄物処理に関する情報の見える化
……………阿賀 裕英
- ネットワーク型データモデルによる情報の構造化と分析
……………福田 陽一郎
- 常呂川流域の水循環と水利用
……………木塚 俊和
- サケ稚魚が育つ湖はどこか?-海水と淡水が混ざる「汽水域」の水質比較から探る-
……………鈴木 啓明
- 流域と湖底からの栄養塩供給-サロマ湖漁場環境保全調査-
……………三上 英敏
- 大気中有害化学物質モニタリングにおけるパッシブサンプリング法の有効性
……………永洞 真一郎
- 北海道におけるフロン類濃度の変化
……………芥川 智子
- ヒグマ出没情報収集システム「ひぐまっぷ」の開発と渡島半島地域における運用
……………釣賀 一二三
- エゾシカの新たな調査手法と捕獲技術の普及に向けて~自動撮影法と小型囲いワナ~
……………稲富 佳洋
- エゾシカ管理と有効活用
……………宇野 裕之
- 農村地域における草原性鳥類の環境利用の特徴
……………玉田 克巳

- 11:30 ~ 13:10 ● 受付・ポスター展示
- 13:10 ~ 13:20 ● 開会挨拶
- 13:20 ~ 15:10 ● 口頭発表(「北海道日本海沿岸における3.11後の津波想定」)
- 地質研究所による津波堆積物調査;成果と活用
……………川上 源太郎
 - 日本海沿岸の古津波シミュレーションモデル構築と学術的意義
……………谷岡 勇市郎(北海道大学大学院理学研究院付属地震火山研究観測センター)
 - 3.11を踏まえた北海道の津波浸水想定の見直し
……………北海道総務部危機対策局危機対策課
 - 総合討論
- 15:10 ~ 16:10 ● ポスター発表・休憩
- 16:10 ~ 17:10 ● 口頭発表
- 日本海沿岸域の環境特性データベースの構築(西南北海道)
-沿岸漁業における意義と新たな研究展開-
……………檜垣 直幸
 - 地下水資源持続利用のための地下水管理システム
-札幌市北部~石狩湾岸地域の地下水環境-
……………森野 祐助
 - 岩内町における地熱・温泉資源の開発可能性について
……………田村 慎
- 17:10 ~ 17:20 ● 閉会挨拶

ポスター発表プログラム

- 重点研究「日本海沿岸域における過去最大級津波の復元」成果(WEB-GISのデモ)
……………川上 源太郎
- 1741年渡島大島山体崩壊にともなう津波の痕跡
-文部科学省 日本海地震・津波調査プロジェクト 平成29年度津波堆積物調査報告(北海道地域)-
……………加瀬 善洋
- 音波探査で沿岸陸域にある活断層の海域延長部を調べる
-石狩低地東縁断層帯の南側, 苫小牧沖の状況-
……………内田 康人
- 寒冷地域における丘陵斜面の土層の特徴と斜面崩壊リスク
……………石丸 聡
- UAVを用いた急崖斜面の三次元地形モデルの試作
……………輿水 健一
- 重力探査・電磁探査による地下構造調査
-重点研究「ニセコ地域における地熱構造モデル構築と地熱資源量評価」中間報告①-
……………岡 大輔
- 泉質分析による温泉水の起源と成因の推定
-重点研究「ニセコ地域における地熱構造モデル構築と地熱資源量評価」中間報告②-
……………大森 一人
- 鉱山廃水の中和処理コスト低減に向けて -旧幌別硫黄鉱山坑内水の石灰石連続中和実験結果-
……………野呂田 晋
- オホーツク地方の地質図改訂 -特に火砕流堆積物について-
……………廣瀬 亘
- 北海道の海岸侵食、現況と要因の整理 -海岸線基本情報の高度化による解析-
……………仁科 健二

地方独立行政法人

北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部

北海道の大気、水、自然、廃棄物、地質、地熱・温泉、防災・減災（地震や火山）など、道民が安全で安心そして豊かな生活ができる環境づくりと地域資源を活用した地域振興や産業振興への貢献を目指した研究をしています。

<http://www.hro.or.jp/list/environmental/>

● 環境科学研究センター



環境保全部
循環資源グループ
水環境グループ
リスク管理グループ

大気汚染、水質汚濁、化学物質による環境汚染、地球温暖化や廃棄物、野生動植物の保護管理などに関する調査研究を実施しています。

自然環境部
生物多様性保全グループ
道東地区野生生物室
道南地区野生生物室

札幌市北区北19条西12丁目
TEL 011-747-3521
FAX 011-747-3254

<http://www.hro.or.jp/list/environmental/research/ies/>

● 地質研究所



地域地質部
地質情報グループ
地質防災グループ
資源環境部
資源環境グループ
沿岸地質グループ

全道の地質的な特性を踏まえた国土の利用や保全対策、地震・火山等、地質に関わる自然災害の防止、地下資源開発、地下環境汚染、海洋地質等に関する調査研究を実施しています。

札幌市北区北19条西12丁目
TEL 011-747-2420
FAX 011-737-9071

<http://www.hro.or.jp/list/environmental/research/gsh/>